

令和 3年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490400049	事業の開始年月日	H20年8月1日
		指定年月日	H20年8月1日
法人名	株式会社保健科学研究所		
事業所名	グループホーム本牧つばき園		
所在地	(〒231-0823) 24-10横浜市中区本牧大里町24-10		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和4年 3月 3日	評価結果 市町村受理日	令和4年4月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	<a href="https://www.reiwakaigo.co.jp/facility/tsubaki/">https://www.reiwakaigo.co.jp/facility/tsubaki/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

アットホームな雰囲気な中で、介護をする事に力を入れています。顔見知りのスタッフと共に、季節のイベントや普段のお手伝いなどを通じて、生活リハビリに取り組んでいます。  
感染対策のため、外出を制限される状況が続いていますが、園内で少しでもご入居者様に楽しんでもらえるイベントを企画・実施しております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和4年3月15日	評価機関 評価決定日	令和4年4月4日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所の優れている点】</b></p> <p>◇介護計画の毎日モニタリング ・介護計画で定めた目標のモニタリングを毎日行っている。利用者へのサービス項目ひとつひとつに対して○=出来た、△=取組んだ、×=出来なかったを[介護記録]に記入し、介護計画の随時の見直しにつなげている。</p> <p>◇利用者の思いの尊重 ・花が好きな利用者にはプランターの水やりなどの世話を任せ、もっと散歩がしたいという利用者には介護計画に長目の散歩を組み込むなど、利用者の要望を実現できるように支援している。カップラーメンが食べたいという利用者には週1回カップラーメンの日を設けている。また行事食として出前寿司や釜めしを提供するなど、食に関しても利用者の要望を取り入れている。</p> <p>◇職場環境の整備 ・年4回の個別面談で職員から意見を聞き、コロナ禍で三密を避けるため休憩に会議室を開放したり、女性職員には帰りが遅い勤務を減らす調整をするなど、職場環境の整備に努めている。</p> <p><b>【事業所が工夫している点】</b></p> <p>◇家族と利用者の窓越し面会 ・コロナ禍で面会を制限せざるを得ないが、事業所では予約制のWEB面談に加えて、予約不要の窓越し面会を実現し、家族と利用者に安心感を与えている。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	本牧つばき園
ユニット名	はまなすユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の通りに地域への社会参加に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の理念を玄関に掲示し、職員に周知している。</li> <li>・「利用者の人格を尊重し」で始まる理念のとおり、要望の聞き取りから対応まで、職員は利用者本位に考えてケアを実践している。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の活動に参加。お祭りでは神輿の待機所を提供。こども110番の家にも参加しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に加入し、事業所の駐車場をお祭りの神輿の待機所に提供するなど町内会に協力している。</li> <li>・移動パン屋の日程を近隣住民に知らせ顔を合わす機会を作っている。</li> </ul>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、情報発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、書面での開催となりました。アンケートを利用し、意見を集めるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面での運営推進会議を年6回開催し、メンバーの地域ケアプラザ担当者、民生委員、家族、後見人、自治会会長に送付している。</li> <li>・アンケートと返信用封筒を同封し、家族から面会を求める要望が多数寄せられた。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍の為、定期的な訪問から電話連絡に切り替えています。協力関係構築に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の議事録を中区に郵送している。</li> <li>・利用者に後見人をつける手伝いをした際、中区の生活支援課担当者を立会人とし、面談場所を提供した。</li> <li>・横浜市の虐待防止のWEB研修を職員が受講している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修を定期的に行い、身体的拘束の適正化に努めております。	・年4回、法人の身体拘束適正化委員会に管理者が出席し、その内容と議事録をもとに事業所で内部研修を行っている。 ・管理者は職員のスピーチロックに注意し、感情を抑えて利用者に対応するよう指導している。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を行い、予防に努めています。	・虐待防止の研修を年1回行い、職員は研修報告書を作成している。 ・利用者の失敗を他の利用者に知られないように対応するなど、心理的虐待の防止に努めている。 ・職員は年1回ストレスチェックを受けている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会を設け、活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にしっかり説明する事は当然として、契約後も不明な点や疑問点があれば説明する機会を設けています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡や日々のやり取りの中で頂戴したご意見は、ユニット会議やショートミーティングなどで周知しています。	・コロナ前は、夏まつりやクリスマス会のあとに家族懇談会があった。 ・コロナ禍で面会ができなくなったとき、顔を見て話が見たいという家族要望で窓越し面会を実施した。 ・家族で一緒に静かに話をしたいという要望に、会議室を提供した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議はもちろん、日々のコミュニケーションの中で情報を収集を行っています	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意見・提案は、月1回のユニット会議や業務中のコミュニケーションで聞き取り、空気清浄機などの備品の購入につながった。</li> <li>・個別面談を年4回行い、職員から意見を聞いている。職員どうしのトラブルを調停したことがある。</li> </ul>	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日々の業務の中でのコミュニケーションや3ヶ月毎の面談の中で、意見を収集し環境改善に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の個別面談では、人事考課や昇給評価を行っている。</li> <li>・三密を避けるため、休憩に会議室を開放し、ロッカールームを広く使えるように環境改善に努めている。</li> <li>・女性職員の場合、帰りが遅くなる勤務を減らすよう調整している。</li> </ul>	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	webにて研修動画を見る機会を提供し、社内研修を受ける機けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員に対して、ベテラン職員がOJTとして早番を1か月間と遅番を1か月間指導している。</li> <li>・職員に研修情報を提供し、実践者研修受講には費用を負担している。</li> <li>・ベトナム人技能実習生に介護福祉士資格の研修を行っている。</li> </ul>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の系列施設に訪問する機会を設けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご契約する前にご本人と面談を行い、少しでも不安なくご入居できるように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居する際、できるだけご要望を聞き取り、不安を解消できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談の情報を現場とも共有し、ご入居初日から適切なサービスが受けられるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できるだけ他人行儀にならない範囲で、家族のような親しみのあるケアを実践しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	大きなイベントの時は行事参加のお誘いしたり、面会が出来ない時も電話連絡をする機会などを設けています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどの外出支援を行う際は、ご入居者様と馴染みのある地域を選択するなどして、可能な範囲で支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が住んでいた場所へのドライブや馴染みの場所でお花見をするなど、外出支援を工夫している。</li> <li>・家族から利用者への電話を取り次ぎ、利用者から家族への連絡も事業所の電話を使えるようにしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、できるだけ交流がもてるように支援をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご連絡がある時は、可能な範囲で相談や支援などを行っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の事前情報を元に、できる範囲になってしまいますが、お手伝いさせて頂いています。	・利用者の意向はアセスメントや介護計画書作成時の聞き取りで把握している。また日々の会話で得られる利用者の思いは月1回のユニット会議で共有している。 ・花が好きな利用者にはプランターの水やりなどの世話を任せている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報やご本人様との会話の中から少しでも情報収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段からのお手伝いの中で収集した情報を、連絡ノートや月1回のユニット会議などでスタッフ一同情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議の中で日常の様子や情報を共有し、介護計画作成にしています。	・介護計画作成時に利用者と家族の意向を聞いている。 ・モニタリングは介護計画の項目ごとに毎日行い、月1回のユニット会議で、管理者、ケアマネジャー、居室担当者が利用者の現状をもとに介護計画の更新を検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートなどで情報共有を行い、日々のケアにも反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お部屋の担当者を任命し、担当者がご要望に柔軟に応えられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会のお神輿待機所に成ることで、足腰が悪いご入居者様も参加できるように支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居前からのかかりつけ医への受診時の情報を提供を行っています。	・契約時に協力医の説明をし、全員が協力医と契約をしている。訪問診療は、協力医は月2回、訪問看護師は週1回、訪問歯科は月1回あり、訪問マッサージ利用者が2名いる。 ・「往診録」で医療連携し、情報交換と共有をしている。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が来園の際は専用のノートを使用して、日々の様子や往診の情報を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ADL表の提供や日々の様子などを含めて、情報提供を行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と医師の面談する場を早期に提供や職員に情報を共有し、不安なく関われる様に取り組んでいます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前は協力医療機関が看取り等について責任を持って対応していたが、コロナ禍で病室の確保が難しくなっている。</li> <li>・来年度以降の目標に、看取りについての取り組みの見直しを事業所で検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化や看取りに関する指針を明文化し、職員には研修などにより事業所の今後の方針を共有する取り組みが期待されます。</li> </ul>
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事務所に急変時の連絡先と対応手順を掲示しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を作成し、定期的な訓練を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を年2回、夜間想定・土砂災害を含めて実施している。</li> <li>・管理者は職員に先ず自身の身を守り、安全を確認し利用者を1か所に集めるよう指導をしている。</li> <li>・保存食や飲料水を7日分備蓄し、一覧表で管理している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
			)		
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内にて接遇マナー研修を行い、日々の声掛けにも気をつけています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「接遇」「プライバシー」「個人情報」等の研修を年1回実施している。管理者は職員の不適切な対応にはその場で呼んで注意指導している。</li> <li>・個人情報の書類は、事務所の書庫で施錠管理している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	残存機能を失わないように、着替えの洋服を選んで頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご気分が優れず入浴したくないとおっしゃった時は、時間をずらすなどの柔軟な対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感を忘れないように、洋服選びをお手伝いしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブルふきなど、できる範囲のお手伝いをして頂いています。月に1回の訪問パン屋さんの時は、ご自分で食べたいパンを選んで頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は外部委託で、食事形態は常食・刻み・ペーストと利用者の状態に合わせて発注している。</li> <li>・利用者の好みは職員手作りの行事食・おやつ・出前・訪問パン屋などで対応している。</li> <li>・お正月はお節料理を重箱に詰め、日常と気分を変えてもらった。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分が足りないお客様には、好きなお茶やジュースをご用意するなどのお手伝いをしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科を受診する事で異常がないかのチェックと、入居者様の状態に合わせた無理のない口腔ケアを行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	下剤内服タイミングの一覧表を作成・掲示しています。トイレ誘導のタイミングや下剤の調整を行い、できるだけご自身の力でできるように支援しています。	・日中は利用者の排泄パターンごとに声かけ誘導をし、夜間は定時で誘導している。夜間のオムツ利用者もトイレでの排泄介助をしている。 ・便秘症の利用者の場合は、牛乳や身体を動かす支援をして、できる限り自然排便に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ水分をとっていただいたり、無理のない範囲で体操に参加して頂いています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	できるだけお客様の好みの温度に近づけています。	・入浴は週2回を基本とし、希望があれば状況により回数を増やしている。同性介助にも対応している。 ・楽しんで入浴できるように、湯温や職員との会話を大切にしている。菖蒲湯やゆず湯で気分転換と、季節感を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の体調に合わせて、お部屋にて休んで頂く時間を設けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでも薬情報を参照できるようにしています。また、症状の変化があった時は情報を共有し、主治医に相談できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる範囲でお手伝いを依頼して、気分転換できるように配慮しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染リスクに配慮しながら、園庭や近所の散歩やドライブなどの外出支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前のように外出ができないが、週3、4回天気の良い日に散歩や外気浴を実施している。</li> <li>・本人の希望で住んでいた場所に、職員とドライブした利用者がいる。</li> <li>・コロナ禍前は家族の協力で、外食や自宅に一時帰宅をしていた。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍が落ち着いたタイミングで、買い物などの支援を計画しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望のご家族様には、電話を取り次いでお話する機会を提供しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾り付けを行い、季節感を失わないように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングの温湿度は職員が管理し、音量を配慮してテレビを2台置き、居心地よい環境を作っている。</li> <li>・春：ひな祭り、夏：七夕、秋：紅葉、冬：クリスマスと季節に合わせた飾りを利用者と一緒で作成して飾り、季節感を演出している。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性や性格をみて、気の合う方はできるだけ席が近くなるように配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い入れのある家具や写真などを持って来て頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室はエアコン、照明、クローゼットが設備され、利用者は仏壇や三面鏡、家族の写真等、馴染みの物を持ち込み、家族が配置し居心地よく過ごせる環境の工夫をしている。</li> <li>・居室担当職員は掃除、衣類の整理や物品補充の支援をしている。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や案内板などを配置し、少しでもお一人で行動できるように配慮しています。		

事業所名	本牧つばき園
ユニット名	りんどうユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の通りに地域への社会参加に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の活動に参加。お祭りでは神輿の待機所を提供。こども110番の家にも参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、情報発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、書面での開催となりました。アンケートを利用し、意見を集めるように努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ禍の為、定期的な訪問から電話連絡に切り替えています。協力関係構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修を定期的に行い、身体的拘束の適正化に努めております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を行い、予防に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会を設け、活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にしっかり説明する事は当然として、契約後も不明な点や疑問点があれば説明する機会を設けています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡や日々のやり取りの中で頂戴したご意見は、ユニット会議やショートミーティングなどで周知しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議はもちろん、日々のコミュニケーションの中で情報を収集を行っています		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日々の業務の中でのコミュニケーションや3ヶ月毎の面談の中で、意見を収集し環境改善に努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	webにて研修動画を見る機会を提供し、社内研修を受ける機かけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の系列施設に訪問する機会を設けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご契約する前にご本人と面談を行い、少しでも不安なくご入居できるように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居する際、できるだけご要望を聞き取り、不安を解消できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談の情報を現場とも共有し、ご入居初日から適切なサービスが受けられるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できるだけ他人行儀にならない範囲で、家族のような親しみのあるケアを実践しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	大きなイベントの時は行事参加のお誘いしたり、面会が出来ない時も電話連絡をする機会などを設けています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどの外出支援を行う際は、ご入居者様と馴染みのある地域を選択するなどして、可能な範囲で支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、できるだけ交流がもてるように支援をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご連絡がある時は、可能な範囲で相談や支援などを行っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の事前情報を元に、できる範囲になってしまいますが、お手伝いさせて頂いています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報やご本人様との会話の中から少しでも情報収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段からのお手伝いの中で収集した情報を、連絡ノートや月1回のユニット会議などでスタッフ一同情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議の中で日常の様子や情報を共有し、介護計画作成にしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートなどで情報共有を行い、日々のケアにも反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お部屋の担当者を任命し、担当者がご要望に柔軟に応えられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会のお神輿待機所に成ることで、足腰が悪いご入居者様も参加できるように支援しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居前からのかかりつけ医への受診時の情報を提供を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が来園の際は専用のノートを使用して、日々の様子や往診の情報を共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ADL表の提供や日々の様子などを含めて、情報提供を行っています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と医師の面談する場を早期に提供や職員に情報を共有し、不安なく関われる様に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事務所に急変時の連絡先と対応手順を掲示しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画を作成し、定期的な訓練を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内にて接遇マナー研修を行い、日々の声掛けにも気をつけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	残存機能を失わないように、着替えの洋服を選んで頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご気分が優れず入浴したくないとおっしゃった時は、時間をずらすなどの柔軟な対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感を忘れないように、洋服選びをお手伝いしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブルふきなど、できる範囲のお手伝いをして頂いています。月に1回の訪問パン屋さんの時は、ご自分で食べたいパンを選んで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分が足りないお客様には、好きなお茶やジュースをご用意するなどのお手伝いをしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科を受診する事で異常がないかのチェックと、入居者様の状態に合わせた無理のない口腔ケアを行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	下剤内服タイミングの一覧表を作成・掲示しています。トイレ誘導のタイミングや下剤の調整を行い、できるだけご自身の力でできるように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ水分をとっていただいたり、無理のない範囲で体操に参加して頂いています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	できるだけお客様の好みの温度に近づけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の体調に合わせて、お部屋にて休んで頂く時間を設けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでも薬情報を参照できるようにしています。また、症状の変化があった時は情報を共有し、主治医に相談できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる範囲でお手伝いを依頼して、気分転換できるように配慮しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染リスクに配慮しながら、園庭や近所の散歩やドライブなどの外出支援を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍が落ち着いたタイミングで、買い物などの支援を計画しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望のご家族様には、電話を取り次いでお話する機会を提供しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾り付けを行い、季節感を失わないように配慮しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相性や性格をみて、気の合う方はできるだけ席が近くなるように配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出のある家具や写真などを持って来て頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や案内板などを配置し、少しでもお一人で行動できるように配慮しています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム本牧つばき園

作成日 令和3年3月31日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	コロナ禍前は協力医療機関が看取り等について責任を持って対応していたが、コロナ禍で病室の確保が難しくなっている。	自施設でも看取り対応ができるように体制を整備する。	・看取りの指針の作成と周知 ・職員への看取りに関わる研修及び勉強会の実施	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。